

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

- ・当社は、四方よし(売手よし、買手よし、世間よし、未来よし)を経営理念とし精進する。
- ・カフェレストラン「くりの実カフェ」では、新たに地産地消を意識した美味しいヴィーガン食の提供により、SDGsのGOAL1貧困をなくそう、GOAL2飢餓をゼロに、GOAL6安全な水とトイレを世界中に、GOAL12つくる責任つかう責任、GOAL14海の豊かさを守ろう、GOAL15陸の豊かさも守ろうに貢献する。
- ・同カフェの味とヴィーガン食を拡げるため、新たに冷凍食品事業を開始し、スーパー等小売店に販路を拡げSDGsの達成に微力ながら貢献する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ◎社会 ◎経済	GOAL12・13 地元食材を積極的に使用することで、フードマイレージの総量削減ひいては県が進めるCO2ゼロに貢献する。 GOAL2・6 ヴィーガン食の普及販売に努め地球の水、土地、食物飢餓問題の軽減に貢献する。	2024年までに現在のヴィーガン食の販売を倍増する。 現在月100万→月200万にする。 2030年までには、県内調達100%を目指し、段階的に海外を含む県外産食材を削減する。
◎環境 ◎社会 ◎経済	GOAL1・11 子ども食堂を隔週1回開催、画図校区の独居老人に隔週1回弁当の無償提供を続けており、貧困をなくし、住み続けられるまちづくりに貢献	2023年までには、子ども食堂では食育の実施、独居老人弁当提供では、民生委員と連携した見守りを開始する。
◎環境 ◎社会 ◎経済	全ての電灯をLEDに変える 什器備品は、更新時に省電力機器に変える。 (2030年までに100%を目指す。)	現在LED電灯は、80%だが2023年には、100%にする 省電力機器は、現在10%だが2023年には50%にする。

<パートナーシップ>

- ・熊本たくま商工会、藤好クリニック(主にヴィーガンの指導を受ける)、地元民生委員。
- ・地元食材の100%調達のためには、県内農林水産業者の協力が不可欠。地産地消から地消地産(地元で消費するものは地元で生産しよう!)という意識の大胆な変革が必要。
- ・2050年までに熊本県内CO2排出実質ゼロを目指す県の取り組みに賛同し協力を行っている。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGs に関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGs に関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			